

いたばし No1.実現プラン 2025

重点戦略Ⅲ ブランド戦略



区制施行 90 周年記念事業～継承と刷新による持続可能なまち“板橋”へ～

事業概要



区制施行 90 周年の節目を全区挙げて祝う

令和 4 年 10 月に、板橋区は区制施行 90 周年の節目を迎えるにあたり、記念式典や記念誌の発行をはじめ、各種記念事業を実施します。コンセプトは「板橋の宝である子どもたちの未来へ、ひと・まち・みどり・文化をつなぎ、だれ一人取り残さず、成長し続ける、暮らしやすい、魅力あるまちへ。～継承と刷新による持続可能なまち“板橋”へ～」。これまで築いてきた歴史・文化の再認識と、コロナ禍を乗り越えた新しい未来に向けたメッセージを、全ての区民に対して伝えていきます。

事業の内容



いたばし花火大会



絵本のまち板橋

記念事業を通じたロイヤルティの高まり

記念事業を通じて、板橋の魅力再認識し、「暮らしやすい」が叶う、住み続けたいまちとしての愛着を高め、誇りに思えるような、板橋らしい「魅力あふれるまち」を育てていきます。

【主な記念事業】

(1) 記念式典

令和 4 年 10 月 1 日（土）に文化会館大ホールにて実施します。地方自治の発展、地域福祉の向上、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与された方など、区に多大な貢献のあった方々に、感謝状等を贈呈します。また、板橋区吹奏楽団によるオープニングセレモニー、神田松鯉氏（重要無形文化財保持者）による講演を実施します。

(2) 記念誌・記念リーフレットの発行

「過去・現在・未来」の共有と共感ができるよう、メッセージ性を意識した構成で、主にグラフィックを使用し、直感的に見やすく理解しやすい冊子を作成します。

(3) いたばし花火大会

卒寿花火や尺五寸玉(15号玉)6発打ち上げなどで、区制施行 90 周年を盛大にお祝いします。

(4) 板橋区民まつり

「絵本のまち板橋」にちなんだコンテンツを入れながら、会場内の一部を「区制施行 90 周年」と「絵本のまち板橋」のコンセプトにあわせたデザインで統一します。

予算

28,200 千円

※別紙、事業一覧のとおり

※なお、上記予算額は、新規事業の額または、
既存事業の拡充分の額を記載

主管課・問い合わせ先

政策経営部 政策企画課

課長 吉田 有 Tel.3579-2011

担当者 佐野 康子 Tel.3579-2011

実施の背景・目的

継承と刷新の精神でさらなる発展を

区は、昭和7年10月1日に誕生し、昭和・平成・令和という時代の変遷の中で、様々な課題を乗り越え、発展を遂げ、区制施行90周年を迎えます。あたたかい「ひと」と元気な「まち」に支えられ、「みどり」あふれる豊かな環境の中ではぐくまれてきた「文化」は、先人たちが築いてきた大切な財産です。これらを継承しつつ、コロナ禍を乗り越え、だれ一人取り残さず、成長し続けるまちの実現に向け、果敢にチャレンジしていく刷新の精神でさらに発展し、飛躍するための契機とします。実施にあたっては、コロナ禍が長期化し、区民生活や経済・文化活動に制約が生じている中、コロナ収束に向け、全力で取り組んでいる現状を踏まえ、既存事業を中心に工夫しながら実施していきます。



今後のスケジュール

実施事業一覧

詳細は P39～P41 をご覧ください

【90周年記念事業コンセプト】

（説明）

板橋の宝である子どもたちの未来へ、

【一段落目】折しも90周年を迎える2022（令和4）年に、（仮称）板橋区子ども家庭総合支援センターを開設し、基礎自治体として児童福祉を向上させる責務を負うことに象徴されるように、「板橋の宝である子どもたちの未来」を常に考え、みんなで安心・安全なまちをつくっていくという思いを込めています。

ひと・まち・みどり・文化をつなぎ、

【二段落目】板橋区は、基本構想の基本理念にあるとおり、あたたかい「ひと」と元気な「まち」に支えられ、「みどり」あふれる「文化」をはぐくんできました。90年の歴史の中で大切に築き上げてきたこれらの区の財産を、次の世代へ確実に「つなぎ」、継承していく決意を込めています。

だれ一人取り残さず、成長し続ける、

【三段落目】ポストコロナを見据えた新たな日常の構築や、地球温暖化を一因とする気候危機への対応が求められるなど、区政は大きな節目を迎えています。いのちを守ることを第一に、SDGsの理念に基づき「だれ一人取り残さず」「成長し続ける」まちをめざすチャレンジ精神を表しています。

暮らしやすい、魅力あふれるまちへ。

【最終段落】これまで、東京で一番住みたくなるまちをめざして取り組んできました。これからも、「暮らしやすい」が叶う、住み続けたいまちとして愛着が高まり、誇りに思えるような板橋らしい「魅力あふれるまち」をみんなではぐくんでいこうというメッセージで締めくくっています。

～継承と刷新による持続可能なまち“板橋”へ～

区制施行 90 周年記念事業一覧（区実施）

| No | 事業名 | 実施時期 | 内容 | 予算額 (千円) | 所管課 |
|----|--|------------------|--|-------------|-------------------|
| 1 | 記念絵はがきの販売 | 4月15日～ 令和5年3月 | 赤塚植物園にて四季毎の植物の写真を印刷した絵はがきを季節に応じて3枚1組100円で販売（各季節50組作成） | 既定予算 | みどりと公園課 |
| 2 | 区制施行90周年記念収蔵品展 (仮称)「板橋区の成り立ちとあゆみ」 | 4月23日～ 6月19日 | 昔と今の役所の仕事と昭和7年に成立した板橋区の歴史とあゆみを紹介する展示を実施 | 既定予算 | 生涯学習課 (郷土資料館) |
| 3 | 区制90周年記念事業館蔵品展 「井上長三郎・寺田政明・古沢岩美の時代ー池袋モンパルナスから板橋へ」 | 4月29日～ 6月5日 | 戦前は池袋モンパルナス、戦後は板橋区で暮らし、戦後日本の洋画壇をリードする存在になった3名の画家にスポットを当てた、所蔵作品の特別展示を実施 | 既定予算 | 文化・国際交流課 (美術館) |
| 4 | 記念特別展示 「90年の歳月と図書館のあゆみ」 | 5月 | 区立図書館の歴史や昭和7年の出来事、同年生まれの作家等の作品を特別展示（各館を巡回展示） | 既定予算 | 中央図書館 |
| 5 | 記念特別事業 未来をはぐくむ「絵本のまち」～絵本寄贈キャンペーン～ | 6月 | 家庭で眠る絵本（とっておきの1冊）の寄贈受付キャンペーンを実施 寄贈時にこの絵本に対する思い等のメッセージを受け付け、展示の際に活用 | 既定予算 | 中央図書館 |
| 6 | 図書館を使った調べる学習コンクールの特別顕賞 | 6月 | 小・中学生の探求的な学びにつなげられるよう、図書館資料を活用して調べ学習の作品を募集し、表彰 また、区制に関連のある内容の研究の中から特別賞を設けて表彰 | 既定予算 | 中央図書館 |
| 7 | いたばし花火大会 | 8月6日 | 区制施行90周年を祝う花火プログラム 【卒寿花火の打ち上げ】 伝統のワイドスターメインと卒寿のカラーである紫色のナイアガラの滝 【尺五寸玉6発の打上げ】 都内最大の尺五寸玉（15号玉）を2発から6発に増発し、15号玉×6発=90周年を表現。 | 4,500 | くらしと観光課 |
| 8 | 区制施行90周年記念館蔵品展 (仮称)「ぞろぞろ・わいわい・人だらけー狩野派もそれ以外も」 | 8月27日～ 10月2日 | 狩野派を中心とする近世の優れた絵画を紹介する特別展示を実施 | 既定予算 | 文化・国際交流課 (美術館) |
| 9 | ボローニャ・ブックフェア in いたばし | 8月 | 出版後90年、生誕90年など「90」に絡めた企画展示を予定 | 既定予算 | 中央図書館 |

| | | | | | |
|----|---------------------------------|--|--|-------|--------------------------------|
| 10 | 記念特別展示 「わたしのすきな本」 | 9月 | 区民から心に残った本や未来に残したい本等のあらすじや感想を募集。 図書館内での紹介と対象図書を展示 | 既定予算 | 中央図書館 |
| 11 | 区制施行 90 周年 記念誌等発行 | 10月1日 | 区の歴史や今後のめざす姿、特色ある 取組・地域資源等を紹介する冊子を作 成 | 5,566 | 広聴広報課 |
| 12 | 区制施行 90 周年 記念式典 | 10月1日 | 板橋区吹奏楽団によるオープニングセ レモニー、区政功績者への感謝状等贈 呈式、重要無形文化財保持者で区民栄 誉賞受賞者の講談師神田松鯉氏による 講談を予定 来場された方への記念品配付 | 3,852 | 総務課 |
| 13 | 「広報いたばし」 特集記事 | 10月1日号 (情報版)も しくは10月8 日号(特集版) | 記念事業の紹介、区のあゆみ、基本コン セプトに沿った特集記事 | 既定予算 | 広聴広報課 |
| 14 | 映像広報 「魅力発信!いたばし ナビ」特別号配信 | 10月1日～ 31日 | 区の施策・景観・施設等、板橋区の魅力 を紹介・観光大使の杉浦太陽氏の出演 を予定 | 既定予算 | 広聴広報課 |
| 15 | 区制施行 90 周年 記念展示 | 10月 3日～14日 | 区の歴史の振り返りや、魅力資源等を 紹介する展示を実施 | 既定予算 | 広聴広報課 区政情報課 |
| 16 | 板橋区民まつり | 10月 15日、16日 | 区制施行 90 周年記念オープニングパ レードの実施 | 既定予算 | くらしと 観光課 |
| 17 | 北京市石景山区 友好都市提携 25 周年 記念事業 | 10月(予定) | 中国北京市石景山区との「友好交流・協 力関係に関する合意書」調印 25 周年と 合わせ、区制施行 90 周年についても石 景山区に周知し共に祝う 公式訪問団の受入れと周年記念イベン トを実施 | 7,605 | 文化・国 際交流課 区議会 事務局 |
| 18 | 板橋オプトフォーラム | 10月(予定) | 「光学の板橋」に関連した歴史や区内 企業の情報を集約した冊子の制作 東日本連携センターと共同した「東日 本光学産業サミット」の開催 | 2,077 | 産業振興課 |
| 19 | ゼロカーボン社会に向 けた啓発用リーフレッ ト作成 | 10月(予定) | ゼロカーボン社会に向け、自発的な行 動変容を促しライフスタイルの変革を 実現するためのロゴマークを用いた環 境啓発リーフレットを作成(P19) | 1,300 | 環境政策課 |

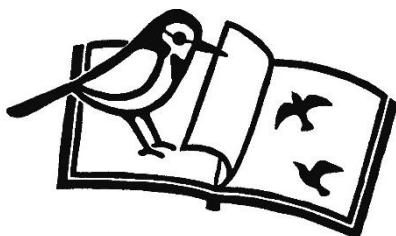
| | | | | | |
|----|-----------------------------|-----------------|--|-------|------------|
| 20 | クイズラリー | 10月 | 区制施行 90 周年にまつわるクイズに挑戦しながら区立図書館や区内史跡や施設をめぐるコースを紹介 | 既定予算 | 中央図書館 |
| 21 | 絵本(冊子)を活用した防犯意識啓発事業 | 10月下旬 | 子どもに知名度が高いキャラクターを用いた防犯に関する絵本を作成し、防犯意識の啓発事業を実施 | 3,300 | 防災危機管理課 |
| 22 | いたばしウォーキング大会 | 11月3日 | 区制施行 90 周年記念のコンセプトに合わせた運営を予定 | 既定予算 | スポーツ振興課 |
| 23 | 板橋農業まつり | 11月12日、13日 | 区制施行 90 周年に因んだ企画を実施予定 | 既定予算 | 赤塚支所 |
| 24 | 区制施行 90 周年記念事業 子育て支援セミナー | 11月 | 区制施行 90 周年の節目に(仮称)板橋区子ども家庭総合支援センターが開設することを記念した、子育て世代向けのセミナーの開催 | 既定予算 | 児童相談所開設準備課 |
| 25 | (仮称) いたばし防災まつり | 11月上旬 | 総合防災重点地区訓練と防災フェアの2事業を合体させ、区制施行 90 周年を節目として第 1 回を開催 | 既定予算 | 地域防災支援課 |
| 26 | 「旧粕谷家住宅」生誕 300 年記念事業 | 令和 5 年 1~3 月頃 | 令和 4 年度に建造 300 年を迎える当住宅で、イベント・講座を開催 郷土資料館での関連展示や周辺施設における事業を実施 | 既定予算 | 生涯学習課 |
| 27 | 板橋 City マラソン | 令和 5 年 3 月 19 日 | 世界陸連認証を取得し、日本初の河川敷道路をコース全般に使用した公認大会として実施 また、90 位の参加者へ記念品を贈呈するほか、ゼッケン番号の末尾が 90 番の方を対象に粗品を贈呈予定 | 既定予算 | スポーツ振興課 |
| 28 | 生徒会交流会・発表会 | 未定 | 板橋区立中学校の各生徒会の代表が集まり、互いの取組を紹介・協議することで取組を深める生徒会交流会を実施 SDGs の視点から、身の回りにある課題について板橋区立全中学校での取組を考え、発表会にて発信 | 既定予算 | 指導室 |

※予算額欄は、新規事業の額または、既存事業の拡充分の額を記載している



絵本文化の新たなストーリーを展開！「絵本のまち板橋」プロジェクト

事業概要



絵本のまち板橋

ブランド戦略における一大プロジェクト

令和3年1月に策定した「いたばし No.1.実現プラン 2025」における重点戦略のひとつである「ブランド戦略」の展開として、「絵本のまち板橋」を位置付けています。本プロジェクトでは、イタリア・ポローニャ国際絵本原画展の開催や外国語絵本の蔵書、印刷製本業の集積など、絵本に関する資源を活かした取組を区全体で推進していきます。区民が絵本を親しむだけでなく、創作者の活動の充実・支援に取り組むなど、区民と創作者の視点に立った事業実施と相乗効果により、絵本文化の積極的な展開を図って行きます。

事業の内容



イタリア・ポローニャ国際絵本原画展



いたばし国際絵本翻訳大賞

関係団体との協働により「絵本のまち板橋」を推進

本プロジェクトでは、以下の項目に基づく事業を展開・実施していきます。

(1)絵本のまち推進環境整備事業

専門家の活用、講演会やワークショップの開催

(2)防犯意識啓発に係る推進事業

絵本を活用した防犯意識啓発

(3)文化芸術に係る推進事業

ポローニャ国際絵本原画展、三浦太郎展、クリエイターを招いたワークショップ開催

(4)産業ものづくりに係る推進事業

印刷製本企業との連携による展示会、板橋区民まつり

(5)子育て世帯向け推進事業

こどもわくわくフェスタ、「えほんのひろば」設置

(6)すべての世代に向けた推進事業

編集者や翻訳者による国内外の絵本紹介、ポローニャ・ブックフェア in いたばし、いたばし国際絵本翻訳大賞、おはなし会等各種イベント開催

予算
48,514 千円

主管課・問い合わせ先
政策経営部 ブランド戦略担当課

課長 小熊 大介 Tel.3579-2047
担当者 高橋 輝充 Tel.3579-2515

実施の背景・目的

絵本と地域資源が生み出した絵本ブランド

絵本に関する歴史は、1981年に区立美術館で開催された「第1回ポローニャ国際絵本原画展」に始まります。以来、絵本を通じた友好を重ね、2005年には友好都市交流協定を締結し、現在も交流を深めています。また、区は古くから工場集積地として発展し、印刷製本産業に関連した企業が多く立地しています。区では、こうした歴史や地域資源を活用し、絵本に関する様々な取組を行ってまいりました。「絵本のまち板橋」推進プロジェクトは、各所管による取組から組織横断的な取組へと発展させ、関係団体・有識者等を巻き込んだ事業を展開していきます。「国際性・芸術性」及び「産業ものづくり」を活かした各種事業の展開により、「絵本のまち板橋」としてのブランディングを強力に推進していきます。



ポローニャ絵本館(区立中央図書館内)

今後のスケジュール

令和4年度～ 既存事業、新規事業の実施、試行、点検、拡大
令和6年度～ 基本計画等への位置づけ検討



【区立中央図書館】



【声優による絵本読み聞かせ】



【絵本製作工場の見学】

絵本のまち板橋

【絵本製作ワークショップ】



【講演会：世界の書棚から】



【区立美術館】



東京で一番住みたくなるまちへ！まちづくり計画が進行！！

事業概要

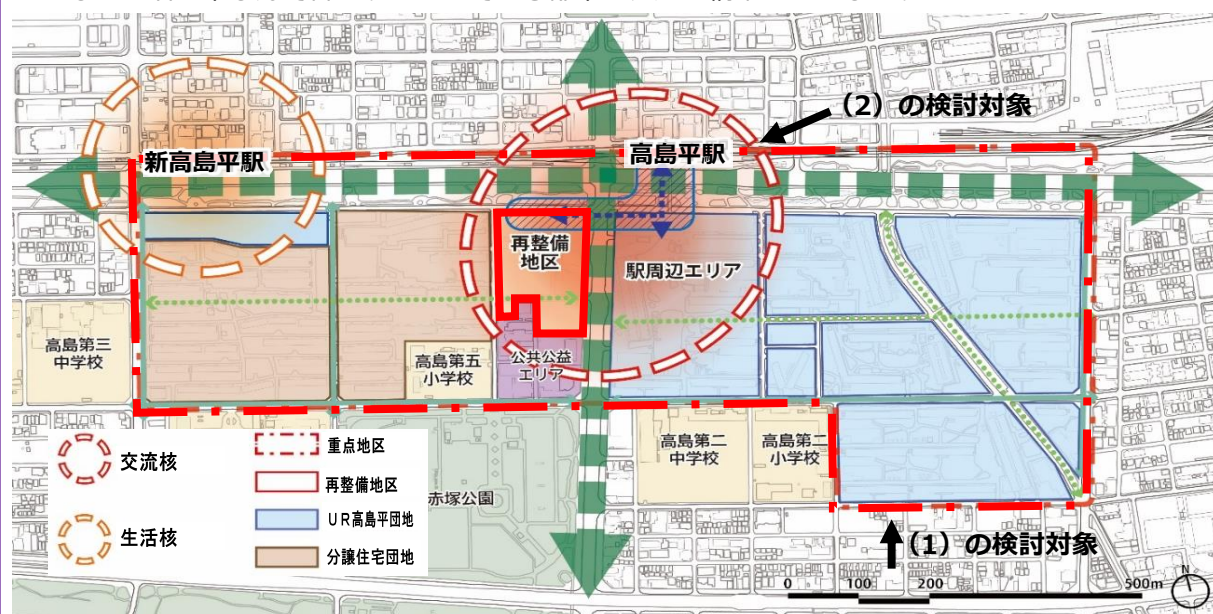
区では、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて、「都市づくりビジョン」を策定し、SDGsを指向した、誰もが安心して暮らせる、未来へつながるまちづくりを進めています。

区のまちづくり事業では、地域や大学・企業とのさらなる連携、組織横断的な施策展開によって、若い世代の定住化や交流人口の増加など、にぎわいの創出に向け取り組み、「選ばれるまち」「住みたくなるまち」の実現をめざします。

現在4地区で、駅を中心とした沿線まちづくり事業に取り組み、快適・便利で、個性と魅力あるまちづくりを地域、住民の方々とともに、進めています。

高島平地域のまちづくり

高島平地域内外の交流や若者世代の定住を促進し、子どもから高齢者まで、元気に楽しく安心して住み続けられるまちをめざします。20歳代から40歳代までの若者世代に照準を合わせ、この世代が集い移り住みたくなる魅力を創造するとともに、高齢者までを含む多様な世代が歩きや自転車利用を中心とした生活を楽しんで暮らすことができる都市モデルの構築をめざします。



(1)重点地区における地区計画の検討(令和4、5年度)

高島平地域の都市再生の第一歩となる取組を行う重点地区において、旧高島第七小学校跡地を活用し、老朽化した大規模住宅団地及び公共施設の適切な更新に合わせて、駅周辺に都市機能を集積させることで、交流核や生活核の形成をめざします。その実現に向け、重点地区を対象とする地区計画策定に向け、旧高島第七小学校を含む再整備地区での建築等のルールの検討を行います。

(2)交流核形成まちづくりプラン（基本構想・基本計画）の検討(令和4、5年度)

再整備地区及び駅周辺エリアを合わせた交流核エリアでは、日常生活に必要な機能の向上、大規模水害を含む防災機能の強化、交流人口の拡大を図るための土地利用や公共施設機能の充実など、高島平地域全体の再生に資する多様な取組が求められます。その実現に向け、UDCTak や UR 都市機構など様々な主体と連携しながら、交流核形成の具体化及び再整備地区を起点とした連鎖的都市再生の展開について検討を行います。豊かな生活の実現をめざして、新しい技術や価値を取り入れながら、SDGs のめざす未来志向の持続可能なまちづくりを推進します。

予算

| | |
|------------------|--------------|
| 高島平地域まちづくり | 32,978 千円 |
| 大山駅周辺地区のまちづくり | 1,185,874 千円 |
| 東武東上線連続立体化事業推進経費 | 135,721 千円 |

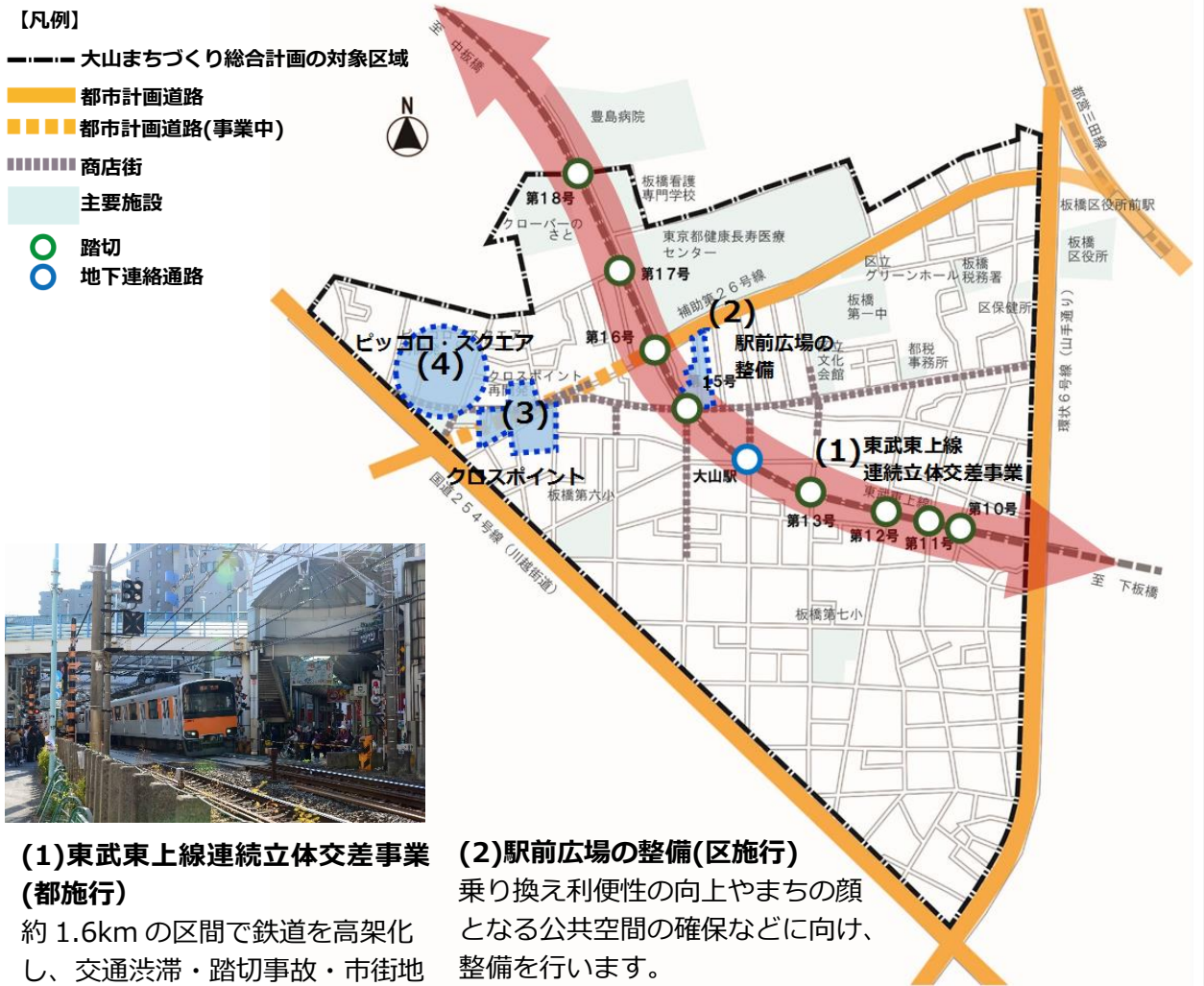
主管課・問い合わせ先

| | | | |
|-----------|-----------------|--------|---------------|
| まちづくり推進室 | 高島平グランドデザイン担当課長 | 牧 修造 | Tel.3579-2122 |
| まちづくり調整課長 | 鉄道立体化推進課長 | 大久保 貴子 | Tel.3579-2569 |
| | | 菊池 利幸 | Tel.3579-2575 |

大山駅周辺地区のまちづくり

【凡例】

- 大山まちづくり総合計画の対象区域
- 都市計画道路
- 都市計画道路(事業中)
- 商店街
- 主要施設
- 踏切
- 地下連絡通路



(1)東武東上線連続立体交差事業 (都施行)

約 1.6km の区間で鉄道を高架化し、交通渋滞・踏切事故・市街地分断を解消します。

- ・令和 3 年 12 月事業認可

(2)駅前広場の整備(区施行)

乗り換え利便性の向上やまちの顔となる公共空間の確保などに向け、整備を行います。

- ・令和 3 年 12 月事業認可



(3)クロスポイント周辺地区市街地再開発事業(組合施行)

補助第 26 号線と商店街が交差する場所として、まちのにぎわいや商店街の活性化を図ります。






- ・令和 3 年 9 月本体工事着手
- ・令和 6 年度 工事完了予定

(4)ピッコロスクエア周辺地区再開発事業(組合施行)

燃えにくい建物と広場空間等を整備し、にぎわいやコミュニティの核となる拠点を整備します。

- ・令和 3 年度 都市計画決定予定
- ・令和 4 年度 組合設立認可予定

板橋駅西口周辺地区のまちづくり

- 【凡例】
-  都市計画道路
 -  都市計画道路(事業中)
 -  歴史的な街道
 -  緑道
 -  公園
 -  まちづくり対象区域



(1)西口地区再開発事業 (組合施行)

商業・都市型住宅等の用途からなる複合的再開発ビルと広場・公園の整備をします。

- ・令和3年度
組合設立認可予定



(2)板橋口地区再開発事業 (個人施行)

商業・都市型住宅のほか、公益エリアを設け、区の魅力創出・発信の拠点や多様な主体が交流できる場の整備を進めていきます。

- ・令和3年9月～
令和4年12月
駅前段工事実施
- ・令和4年度
権利変換計画認可予定

(3)駅前広場の再整備(区施行)

駅前広場の中心にある「むすびのけやき」をシンボルに、「安心安全な駅前広場」「板橋区の玄関・顔にふさわしい駅前広場」、「にぎわいや憩いのある駅前広場」を整備目標として、2つの市街地再開発事業と連携し、整備を進めます。

- ・令和5年度以降

再開発事業の進捗に合わせ、設計(道路・施設)、工事



(4)周辺地区のまちづくり

2つの駅前再開発事業による駅前のにぎわい向上とともに、地区全体のにぎわいや緑豊かな住環境を生かした魅力創出、防災や景観に配慮したまちづくり推進のため地区計画をまちづくり対象区域に導入しました。また、地域団体と協力し、にぎわい創出に向けた様々な取り組みを実施しています。

- ・令和3年6月 地区計画決定
- ・令和3年11月 地区計画条例施行



【#いたばし 想いをつなぐ縁結火】
地域団体と協力し、地域のにぎわい創出に向けた社会実験として、イルミネーションイベントを実施(令和4年1月30日まで。)

板橋駅西口周辺地区まちづくり 341,291 千円
 上板橋駅南口駅前地区まちづくり 3,720,050 千円

まちづくり推進室 遠藤 宏 Tel.3579-2069
 地区整備課長

上板橋駅南口駅前地区のまちづくり

【凡例】

- 東地区再開発事業
- 西地区再開発事業

(1)東地区再開発事業（組合施行）

約 1.7 ヘクタールの区域に駅前広場を含めた都市計画道路などの公共施設整備と合わせて、商業・都市型住宅等の用途からなる再開発ビルを 3 つの街区に整備します。これにより地域の不燃化の促進や消防活動困難区域の解消を図り、災害に強く、にぎわいのあるまちづくりを推進します。

今後、権利変換計画認可をめざすとともに、生活再建サポートセンターによる権利者への相談を継続して行っています。

- ・令和 3 年 3 月 組合設立認可
- ・令和 4 年度 権利変換計画認可予定

(2)西地区再開発事業（組合施行）

約 0.5 ヘクタールの区域の西地区では、関係権利者の合意形成を進め、事業手法を市街地再開発事業に決定し、令和 3 年 7 月に準備組合が設立されました。今後は、事業計画の検討を行い、継続して、関係権利者の合意形成を図り、組合設立認可をめざします。

- ・令和 3 年 7 月 準備組合設立
- ・令和 4 年度 事業計画の検討、組合設立認可予定



東地区再開発事業完成イメージ